

OPC Day 2018 in Japan



OPC UA Global Discovery Serverによる 証明書管理の紹介

2018年12月14日

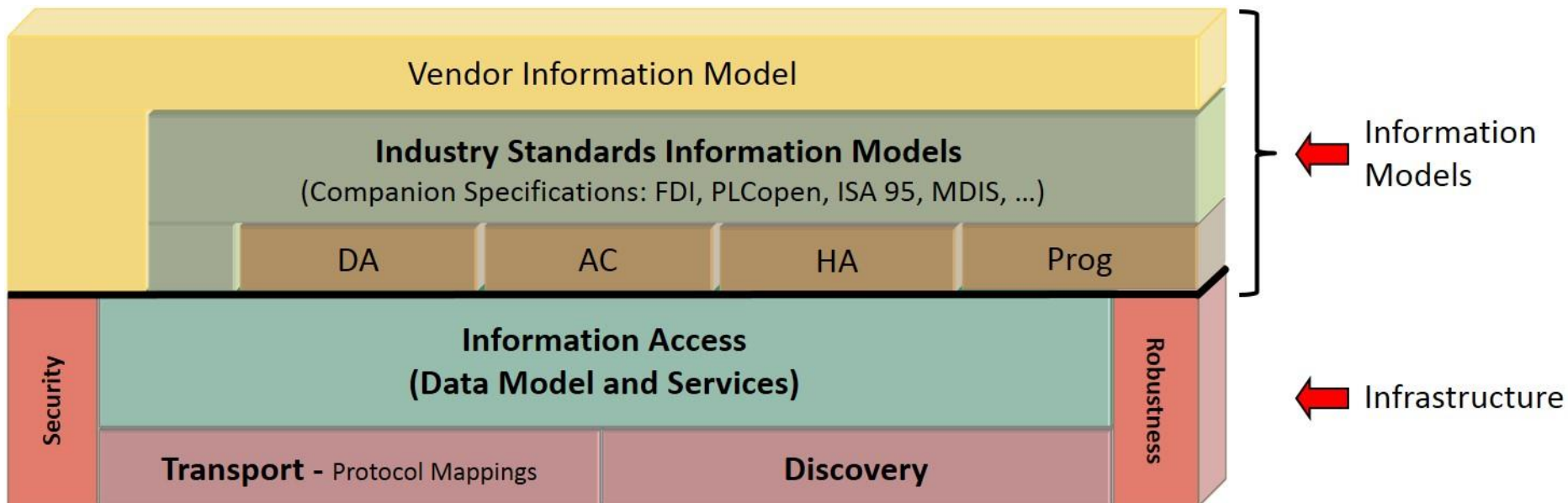
日本OPC協議会 技術部会

遠藤 徹 (アズビル株式会社)

Agenda

- ▶ OPC UAセキュリティの概要
- ▶ 自己署名証明書を使う場合
- ▶ 課題 / 解決方法
- ▶ CA署名証明書を使う場合
- ▶ 利点
- ▶ デモ
- ▶ まとめ

OPC UAセキュリティの概要



Global Discovery Server

仕様 :

OPC Unified Architecture Specification
Part 12: Discovery and Global Services
Release 1.04 February 7, 2018

Global Discovery Server (GDS) :

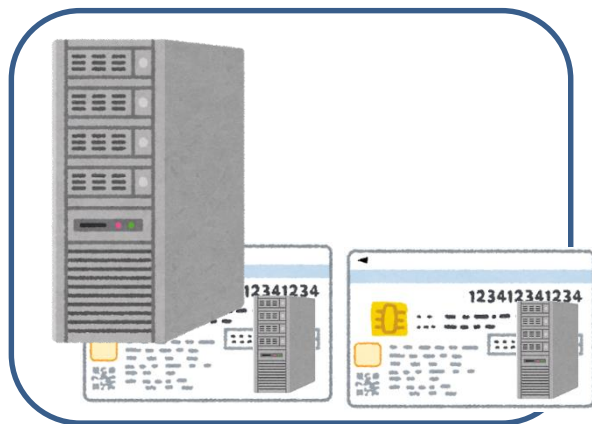
a *DiscoveryServer* that maintains a list of OPC UA *Applications* available in an administrative domain.

Note 1 to entry: a GDS may also provide certificate management services.

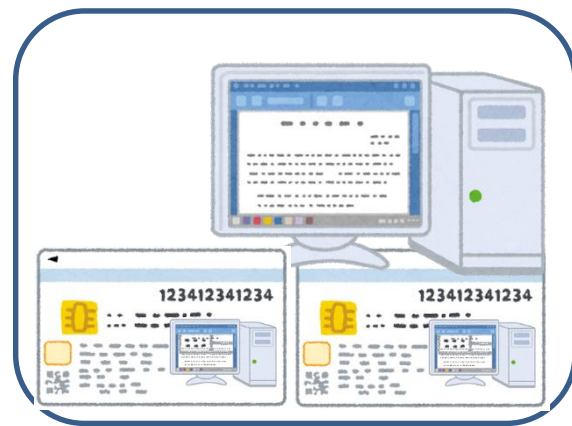
概要 :

OPC UAアプリケーションのリストを管理するサーバ
上記アプリケーションで使用される証明書の管理もおこなう

自己署名証明書を使う場合（準備）



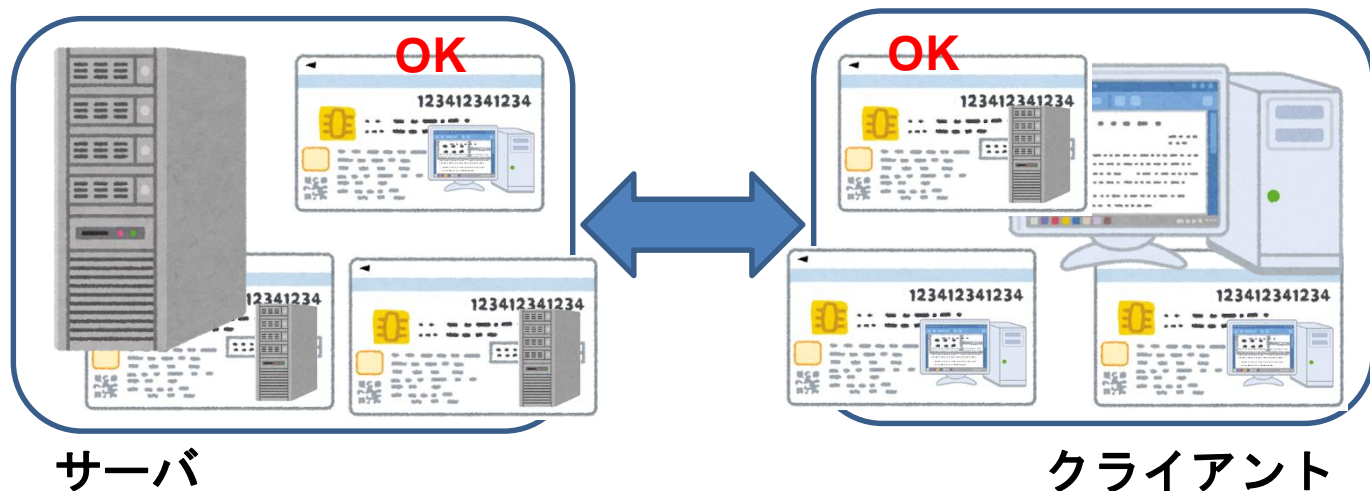
サーバ



クライアント

- ① 各デバイスに自己署名証明書を作成
- ② サーバにクライアントの証明書をインポート
- ③ クライアントにサーバの証明書をインポート

自己署名証明書を使う場合（認証）



- ① 自身の証明書をお互いに送付
- ② 送付された証明書とインポート済みの証明書を照合
- ③ 接続する

課題

- 自己署名証明書は偽造が容易
- サーバとクライアントごとに証明書のペアが必要
- 証明書の作成/インポートが煩雑



解決方法

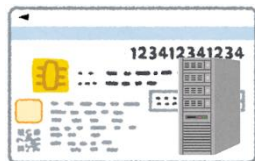
- Global Discovery Serverによる証明書管理
 - 証明書の作成をGDSに集約
 - 証明書はCA署名証明書にする
 - 証明書の照合にはCA証明書を使用
 - 証明書の自動インストール機能あり



GDS : Global Discovery Server
CA : Certificate Authority 認証局
CA署名証明書 : 認証局発行の証明書
CA証明書 : 認証局自身の証明書

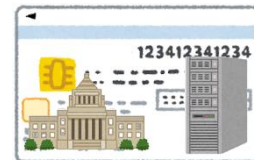
証明書の種類

自己署名証明書



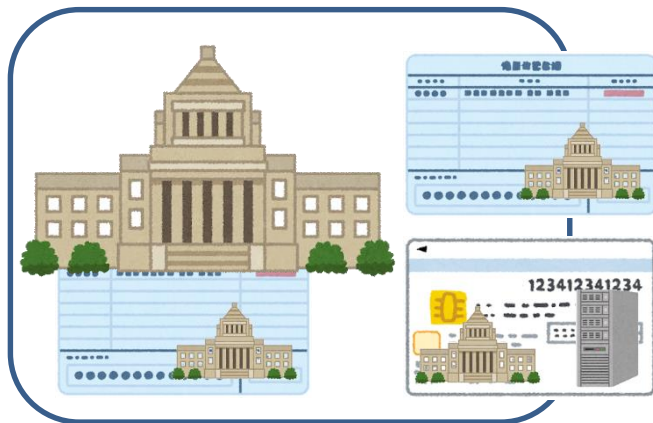
- 自分で作るID
- 名刺のようなもの

CA署名証明書



- GDSが発行するID
- 正当性をGDSが担保
- 免許証のようなもの

CA署名証明書を使う場合（準備）



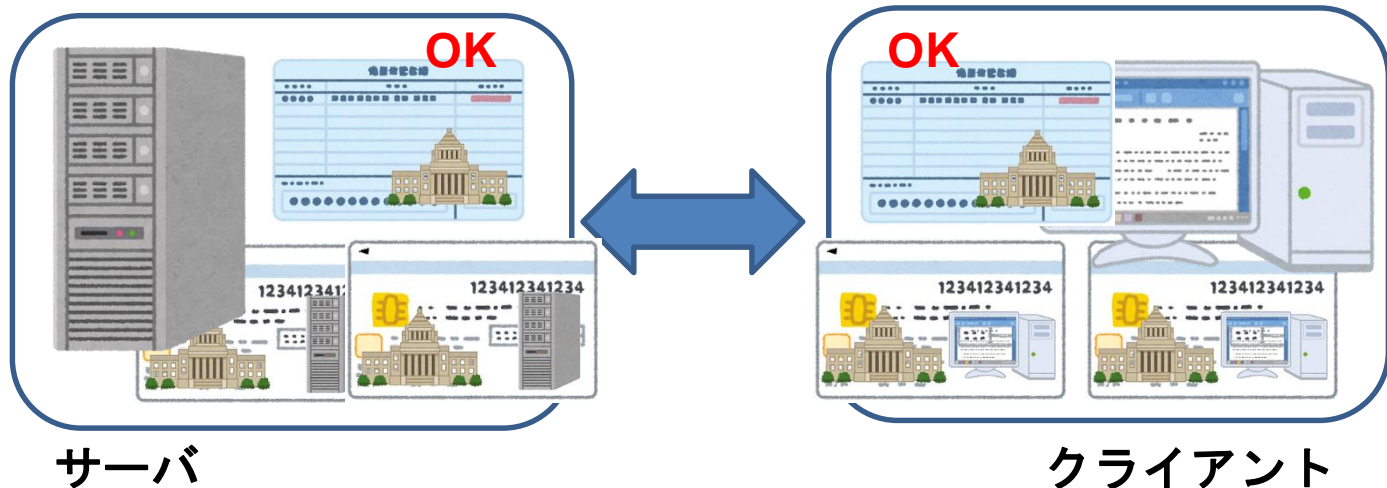
GDS



サーバ環境

- ① GDSはCA証明書を作成
- ② GDSはデバイスのCA署名証明書を作成
- ③ デバイスはCA署名証明書とCA証明書をインポート

CA署名証明書を使う場合（認証）

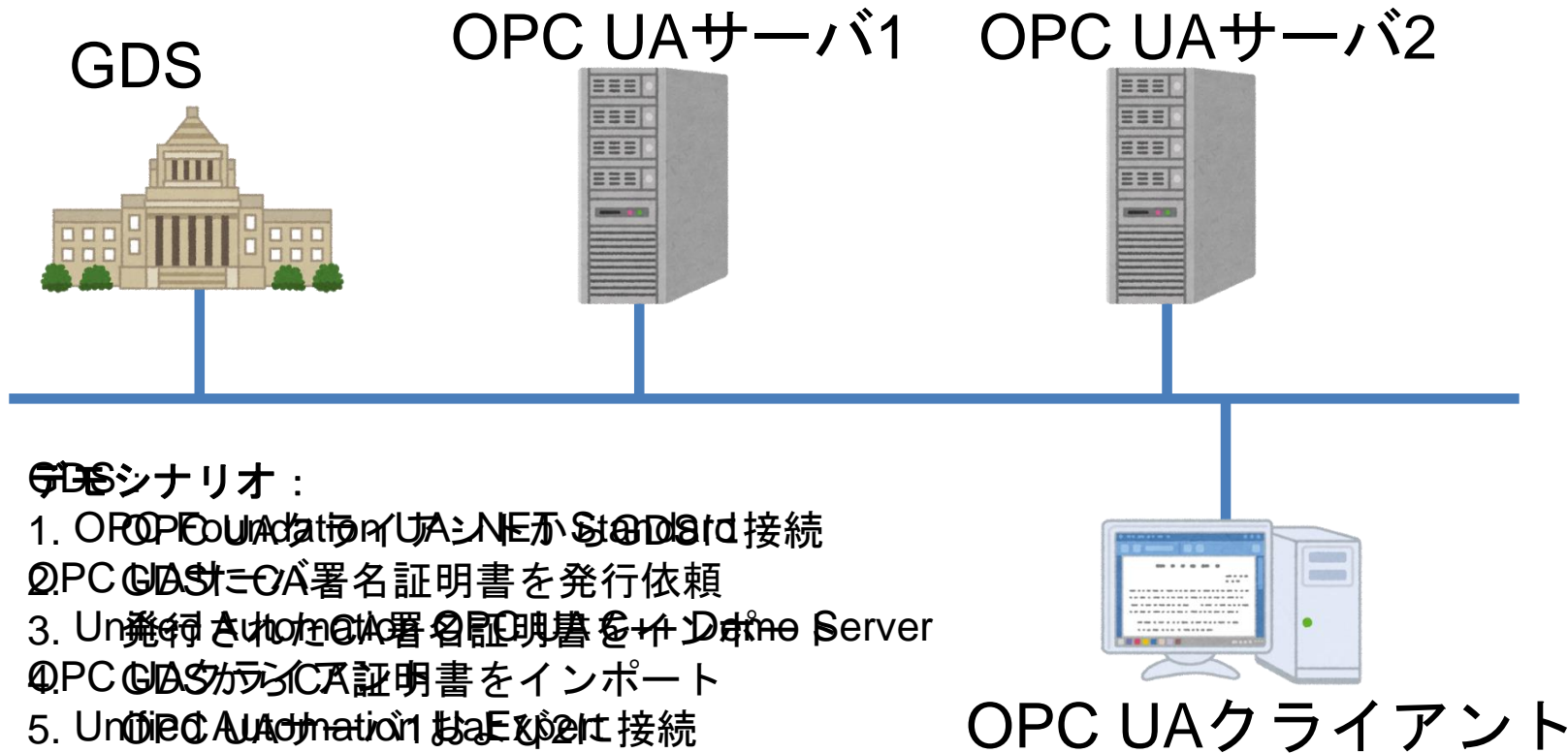


- ① お互いのCA署名証明書を送付
- ② 送付されたCA署名証明書をCA証明書で照合
- ③ 接続する

利点

	自己署名証明書	CA署名証明書
証明書の偽造	偽造可能	GDSのセキュリティにより偽造を防ぐ
証明書の枚数	デバイス数の2乗(10000枚) 各デバイスに全デバイスの自己署名証明書が必要	デバイス数の2倍 (200枚) 各デバイスにCA署名証明書とCA証明書が必要
証明書の更新	手動	自動化可能
デバイス追加時の既設デバイス変更	新規デバイスの証明書を既設デバイスにインポート	変更なし
設備	デバイスのみ	デバイス + GDS

デモシステムの構成



デモ（準備）

添付の動画ファイルを参照

デモ（確認）

添付の動画ファイルを参照

デモ（接続）

添付の動画ファイルを参照

まとめ

- Global Discovery Serverによる証明書管理
 - 証明書管理の省力化/自動化
 - 偽造防止によるセキュリティ向上

台数が多くなりがちなIIoTデバイスに
効果大

日本OPC協議会

URL: <https://jp.opcfoundation.org>

Copyright © 2018, OPC Council Japan, All Rights Reserved

